

はじめに

昨年は、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、多くの犠牲者を出しました。今なお、収束の兆しは見えず、感染拡大が続いており二度目の緊急事態宣言が発出されたところで、この事は一種の災害だと言っても過言ではありません。皆様方もいつ感染し命の危険に晒されるのかと、恐怖を感じておられる方も多いのではないのでしょうか。現状では劇的に効果のあるワクチンや治療薬ができるまでは、このウイルスと共存していくしかありません。今できる限りの感染防止対策をしっかりと実施し、感染に備えることが重要です。災害も同様で、恐れるばかりでは何の役にも立ちません。各種災害の怖さを知り、命を守る知識・技術を身につけることが重要で、そうすることにより被害を軽減することができます。

さて、昨年の国内の災害を振り返りますと、7月豪雨や台風10号などの自然災害により、多くの方が犠牲になりました。近年の自然災害は、年々激しさを増しており毎年のように日本列島に被害をもたらしています。「備えあれば憂いなし」と言う言葉がありますように、まずは各個人が災害に備えること。そして、地域ぐるみで備えることが重要です。加えて、我々消防など、防災を担う関係機関が各種災害に立ち向かえる備えをすることが相まって、市民の安全・安心を確保できるものと確信しています。

一方、北消防署管内に目を向けますと、救急出場件数は毎年のように増加傾向にありますが、昨年は新型コロナウイルスの影響により、全体的に救急需要が約1割減少しました。しかしながら、高齢化の進展と言う社会的背景を考えると、今後も救急需要の増加が見込まれています。消防局では、増加し続ける救急需要や救命率向上を目指し、「救急車の適正利用の推進」、「予防救急の推進」、「まちかど救急ステーション事業の民間事業者への展開」活動を積極的に取組んでまいります。

また、火災は減少傾向にありますが、あらゆる機会を捉えて、住宅火災予防や住宅用火災警報器の設置促進・取り替え、加えて、査察による違反対象物の是正などを強化すると共に、自主防災組織を通して、区民の皆様方の防災意識の高揚に努め、火災の発生抑止に努めます。

昨年の11月25日に「火災による死者ゼロ500日」を達成してから、令和2年12月末で900日を達成することができました。引き続き、区民の皆様と北消防署が協力して、災害発生の抑止に努め、「火災による死者ゼロ1,000日」の達成を目指します。

さらに、本年は消防体制の強化として4月1日から、大阪狭山市と消防事務委託方式により消防広域化の運用を開始いたします。各市、消防団、管内事業所、自治会などと強固に連携すると共に、消防の広域化によるスケールメリットを最大限に活用し、市民の安全・安心のため、さらなる消防行政サービスの向上を目指し、「北区民の安全・安心」を守り続ける所存でございます。

令和3年2月
堺市北消防署長